

第1回 神野公園再整備検討委員会 議事要旨

日時：令和5年2月8日（水）13時30分～15時30分

場所：佐賀市役所 庁議室

委員：後藤隆太郎、木下博幸、喜多浩人、上赤博文、かくもとしほ、
徳田誠、富田紘次、納見浩司、馬場久雄、山口美恵（10名）（敬称略）

アドバイザー：佐賀市情報発信強化アドバイザー 博報堂ケトル 井手康喬

議 事

■神野公園再整備についての委員コメント

①目的

(市)神野公園は、今年鍋島家から寄贈100年を迎える。神野公園の魅力をブラッシュアップして、来園者がもっとわくわくして楽しんでいただけるような新しい公園にするため、有識者の委員から意見を伺う。

②コンセプト

(井手)神野公園7つの体験プロジェクトということで、7つの体験というものを通じて、再整備を進めていくということを掲げている。行政の施設をつくって終わりにせず、つくったところからスタートになり、そこが賑い、ずっと活性化して、人が居続け、どんどん良い方に回り続けていくように体験は大事だ。一部のつくり手発想だけではつくりやすさを重視してしまい、市民からあまり必要とされないことが起こってしまう。市民の発想で、体験価値を高めるために色々なことを考えたい。公園に来て良い体験ができるとリピートしてくれる、他者にも伝えてくれことはPRや話題づくりにつながる。話題が広がると、市民の方だけでなく、来園者の範囲が拡大して、他県からの来園者もある。経済効果が生まれ、経営する意識ができ、良い体験をつくるスパイラルの起点になる。新しい神野公園で7つの動機や体験を用意することは、7種類の「ターゲット」のようなマーケティングの考え方も入る。

老朽化した施設を修繕する時もおもしろいから来園者が喜ぶかを考えた方が良い。

○体験は、本当に素晴らしいことで、自分で体験したことは、自分の言葉として人に伝えることができる。

○神野公園の特徴、特技をどのように見出すかの手法はあるのか。

○今はバーチャルな時代で、全部オンライン上でできてしまい、リアルな体験というのが中々できにくい時代であるため、神野公園に行ったら色々なものにふれあえて体験できることが、結構重要だ。

○若い世代が望む体験について、何か良い情報収集がないか、またこの検討委員会のできるか不安である。

③歴史・概要、④公園内各施設の現状

- 現在のこども遊園地が、旧鍋島家の別邸である神野のお茶屋の敷地に少しかかっていることと、その中で公園全体の水の流れが分かったので、後日報告して討議したい。
- 神野公園内に防犯カメラが設置されているか。なければ、再整備の中で、防犯カメラの設置も考えてほしい。
- 公園内は、トイレを含めきれいにし、トイレ内にオムツ替えシートを男女ともにつけてほしい。また、ベビーカーでも来園しやすいようにバリアフリーにしてほしい。
- 去年、こども遊園地内の男子用トイレにオムツ替えベッドを設置した。
- こども遊園地内には防犯カメラを設置している。
- 特に土日は、こども遊園地の来園者が多く、駐車場が不足している。
- 公園内の貴重な重要文化財を良く見てもらうため、遊歩道の整備が必要である。
- 現在、特に樹木が多く、高く伸びており、神野のお茶屋など外から見えない状況にあるため、樹木の整理が必要である。
- 駐車場は、少し遠くても大きくつくったほうが良い。
- 今のトイレは、怖い、何か使いたくない、我慢するといった意見が特に女性に多い。渋谷区の公園に、使用していない時は、透明で中が見えているが、人が入ると見えなくなるトイレがあり、遊び感覚もある楽しいトイレである。
- 隔林亭を見学される方にもっと魅力を伝えていくことも大事だ。
- 駐車場は、台数が少なく分散しており使いにくいので、例えば、公園南側のグリコの跡地に集約化するほうが良い。
- (市)グリコ跡地は、色々検討されているが、特に公園のために活用するような話はない。
- グリコ跡地は、立地的には絶好なので、駐車場だけでなく、神野公園とあわせて、市民のために、うまく利用できるようにしてほしい。
- 土日空いている駐車場からバイオマスバスなどを走らせて、市の政策とかPRをしながら乗ってもらえるのはどうか。
- トイレはすごく大事で、トイレがきれい・豪華だと、やはり印象がすごく良い。もうトイレを見に来るぐらいの佐賀市らしいトイレができるとすごく良い。
- 体験価値について、今でも施設で多様な体験があるので、体験のクオリティを上げていくのが大事だ。
- (井手)観光地に行って、そこにいる自分を撮って「こういうところ行ったよ」って絶対言いたいのが、観光地とかの心理だ。
- とんぼ池も、もし再整備でつくり変えることができれば、もっと面白いものになる。例えば、築山の向こうに新トンボ池みたいなものをつくるという考え方もある。
- とんぼ池を縮小して、日本庭園ふうにつくり変えるなど、井堀の再現みたいな形で残しても良い。
- とんぼ池には本当に全国的に見ても珍しい植物がいて、とんぼの種数も多い。

⑤これまでの市の取組

○桜の木が10年前は非常に咲き誇っていた感じだが、ここ2、3年少し老木しており、元気がないが目立つ。

○小動物園で動物とふれあいたいが、今の状態だと暗過ぎるし、動物を飼うことは、結構コストがかかり、いつも同じ動物しかいないといつか廃れていく。

○出張ふれあい動物園に土日に来てもらうことで、動物とのふれあいもでき、毎回動物の種類が違くと飽きずにリピーターも増える。

○神野のお茶屋は、文化財で大変風情があり、大切に使わないといけない反面、多くの市民の方が気軽に使えるようにしたほうが良い。

(井手)神野公園の個性を何にするかの議論は絶対に決める必要がある。神野公園は、色々な側面があり、多面的な魅力や施設があるため一つにまとめきれない。委員の方に全体のゴールを何にするか確認したい。最初に目的はあったが、今日の検討委員会の見直し案で公園の目指す指標は何なのか。オープン後にどれだけの人が話題にしてくれたか、SNSで発信があったかということも一つの指標になる。数字で目標をつくるのではなく、どれだけ多くの来園者の体験を1つでも多く生み出せるかといった目標やできるだけたくさんの人に愛される公園といった概念的な目標でも良い。

○もちろん県外からも来てもらいたい、佐賀市在住の方が子どもを連れや家族で行きたくなる場所になれば良い。

○例えば高校生がここで写真を撮る時、インスタ映えするようなものを提供しなければいけないというイメージを持った。

⑥今後の進め方

○例えば公園のベンチでお茶を飲みながら、ちょっと気軽に意見が言えるような、楽しい集いにしたら良い。

○現場の体験を想像しながらやるべきだと思うので、現場で何か話すことは素敵な事だ。